

ワンストップ 支援

JDC「地域包括ケアの深化・地域共生社会の推進を踏まえた『ハイリスク者支援のための連携支援手引き』普及推進事業」
(厚生労働省 平成29年度 自殺予防対策事業)

参加費無料

を考える地域セミナー

多重的な困難をかかえ、自殺リスクが高まった人々への支援については、地域レベルで、より包括的なワンストップ支援を行うための連携を強化していくことが必要です。そのためには、困難をかかえた人々の支援に関して、各領域で使用されている“ことば”や、実践されている支援アプローチ、連携方法などを、地域の関係者の中で共有することが重要となります。

本セミナーは、地域の関係者が様々な領域の情報を共有し連携しながら包括的な支援が実践できるようになることを目的に、JDC（日本うつ病センター）が作成した連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法を学ぶとともに、「地域に必要とされる包括的なケアシステムとはどのようなものなのか」について、地域での支援活動に携わっておられる関係者とともに考えていくものであります。

講義

連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について

講師／大塚 俊弘

(国立精神・神経医療研究センター
上級専門職)

実践報告 ①

報告者／大山 知絵

(NPO 法人 抱樸 主任)

実践報告 ②

報告者／濱田 なぎさ

(日本司法書士会連合会
市民の権利擁護推進室 自死問題対策部会 室委員)



シンポジウム

「北九州でのワンストップ支援を考える」

シンポジスト／

大山 知絵 (NPO 法人 抱樸)

杉本 真奈美 (北九州市社会福祉協議会)

高田 和久 (北九州マック)

濱田 なぎさ (福岡県司法書士会)

助言者／奥田 知志

(生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事)

ファシリテーター／大塚 俊弘

平成30年 **2月27日** (火)
14:00 ~ 17:30

北九州市立男女共同参画センター

「ムーブ」5階 大セミナールーム

北九州市小倉北区大手町11-4

■ お問い合わせ：

NPO 法人 抱樸 総務部

江田 ☎ 093-653-0779

共 催：北九州市 / (特非) 抱樸 / (一社) 日本うつ病センター (JDC)
後 援：福岡県司法書士会 / 北九州市社会福祉協議会 / 北九州マック

ワンストップ支援を考える地域セミナー

- 1 日 時： 平成30年2月27日（火）14：00～17：30
- 2 会 場： 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」 5階 大セミナールーム
(北九州市小倉北区大手町11-4)
- 3 対 象： 市町村（地域保健・介護保険・生活困窮者支援担当者等）、地域包括支援センター、
社会福祉協議会、保健所、福祉事務所の職員、法律関係者、教育関係者 等
- 4 共 催： 北九州市、特定非営利活動法人 抱樸、一般社団法人 日本うつ病センター（JDC）
後 援： 福岡県司法書士会、北九州市社会福祉協議会、北九州マック
- 5 内 容：
 - (1) あいさつ 14:00～14:10
 - (2) 『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について 14:10～15:10
講 師：大塚 俊弘（国立精神・神経医療研究センター 上級専門職）
 - (3) 実践報告 15:10～15:50
報告者①：大山 知絵（NPO 法人 抱樸 主任 [就労準備支援事業担当]）
報告者②：濱田 なぎさ（日本司法書士会連合会
市民の権利擁護推進室 自死問題対策部会 室委員）
 - (4) シンポジウム「北九州でのワンストップ支援を考える」 16:00～17:20
シンポジスト： 大山 知絵（NPO 法人 抱樸 主任）
杉本 真奈美（北九州市社会福祉協議会 地域支援課 課長）
高田 和久（北九州マック 副施設長、ASK ふくおか 代表）
濱田 なぎさ（福岡県司法書士会、濱田なぎさ司法書士事務所 所長）
助 言 者： 奥田 知志
(生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事、
NPO 法人 抱樸 理事長)
ファシリテーター： 大塚 俊弘

◆ JDC

（一般社団法人 日本うつ病センター）

1978年、全国の大学精神科教授を中心に、任意団体『うつ病の予防と治療のための委員会（JCPTD）』として発足。うつ病および関連疾患に関心を抱く医師・コメディカルスタッフへの情報提供、うつ病やその他の心理的障害に悩む一般市民の方々に適切なアドバイス・支援の方法を伝える啓発活動を中心に事業を展開し、2010年に一般社団法人となる。現在は、啓発活動の他、六番町メンタルクリニックにおいて診療を行うとともに、職場のメンタルヘルス・サポート事業にも取り組んでいる。

2016年より、厚生労働省の自殺予防対策事業の採択を受け、「ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり」に着手。自殺ハイリスク者への支援に関する多様な領域の相互協力により、有効な支援の構築に貢献していくことを目的に、連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』を作成。

連携支援のための手引き

『ワンストップ支援における留意点 - 複雑・困難な背景を有する人々を支援するための手引き - 』

特徴的な部分は、第2章「課題別支援のポイント」と第3章「関係機関との連携のポイント」で、各課題について、基本的な知識や情報、専門機関との連携上の留意点を簡潔に記載してある。

課題別に、その問題を抱えた人々の支援に関わる可能性がある者なら誰でも知っておくべき9～10のポイントを挙げ、簡単な解説を加えてある。

記載されている主な課題は、「生活困窮」、「依存症」、「多重債務」、「DV被害」、「幼少期の逆境体験」、「自殺未遂」、「自死遺族支援」など。

JDCのホームページからダウンロードも可能。

<https://www.jcptd.jp/suicide.html>